

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第5685714号
(P5685714)

(45) 発行日 平成27年3月18日(2015.3.18)

(24) 登録日 平成27年1月30日(2015.1.30)

(51) Int. Cl.	F 1		
AO1N 63/02 (2006.01)	AO1N 63/02		P
AO1P 3/00 (2006.01)	AO1P 3/00		
AO1N 25/02 (2006.01)	AO1N 25/02		
AO1C 1/06 (2006.01)	AO1C 1/06		Z
AO1C 1/00 (2006.01)	AO1C 1/00		B

請求項の数 12 (全 35 頁)

(21) 出願番号	特願2011-211164 (P2011-211164)	(73) 特許権者	598096991
(22) 出願日	平成23年9月27日(2011.9.27)		学校法人東京農業大学
(65) 公開番号	特開2012-92093 (P2012-92093A)		東京都世田谷区桜丘1丁目1番1号
(43) 公開日	平成24年5月17日(2012.5.17)	(74) 代理人	100122574
審査請求日	平成25年10月1日(2013.10.1)		弁理士 吉永 貴大
(31) 優先権主張番号	特願2010-217463 (P2010-217463)	(72) 発明者	篠原 弘亮
(32) 優先日	平成22年9月28日(2010.9.28)		東京都世田谷区桜丘1丁目1番1号 東京
(33) 優先権主張国	日本国(JP)		農業大学内
		(72) 発明者	根岸 寛光
			東京都世田谷区桜丘1丁目1番1号 東京
			農業大学内
		(72) 発明者	對馬 誠也
			茨城県つくば市観音台3丁目1番地3 独
			立行政法人農業環境技術研究所内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 イネ科植物の細菌性病害の防除剤および防除方法並びに該防除剤をコートした種子

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

ハーバスピリラム (Herbaspirillum) 属細菌の培養液を含み、イネ科植物の細菌性病害の防除に有効な細菌病防除剤であって、

前記細菌性病害が、イネもみ枯細菌病であり、

前記ハーバスピリラム (Herbaspirillum) 属細菌が、ハーバスピリラム・ルブリスバルピカンス (Herbaspirillum rubrisubalbicans) MAFF311406株、ハーバスピリラム・オートトロフィカム (Herbaspirillum autotrophicum) NBRC15327株、ハーバスピリラム・クロロフェノリカム (Herbaspirillum chlorophenicum) NBRC102525株、ハーバスピリラム・フリシンゲンセ (Herbaspirillum frisingense) NBRC102522株、ハーバスピリラム・ハッチエンセ (Herbaspirillum huttiense) NBRC102521株、ハーバスピリラム・プティ (Herbaspirillum putei) NBRC102406株、ハーバスピリラム・セロペディカ (Herbaspirillum seropedicae) NBRC102524株からなる群から選択された少なくとも1種類である、細菌病防除剤。

【請求項2】

ハーバスピリラム (Herbaspirillum) 属細菌の菌体懸濁液を含み、イネ科植物の細菌性病害の防除に有効な細菌病防除剤であって、

前記細菌性病害が、イネもみ枯細菌病であり、

前記ハーバスピリラム (Herbaspirillum) 属細菌が、ハーバスピリラム・ルブリスバルピカンス (Herbaspirillum rubrisubalbicans) MAFF311406株、ハーバスピリラム・クロ